

キヌキリグモ *Herbiphantes cericeus* (S. Saito)

【選定理由】

県内では、奥三河地方のごく限られたブナ林の林床に生えるスズタケの葉裏に生息する。生息数は少なく、伐採や開発等に伴う生息域の縮小で個体数の減少が懸念される。



北設楽郡設楽町裏谷, 2008年7月21日, 緒方清人 撮影

【形態】

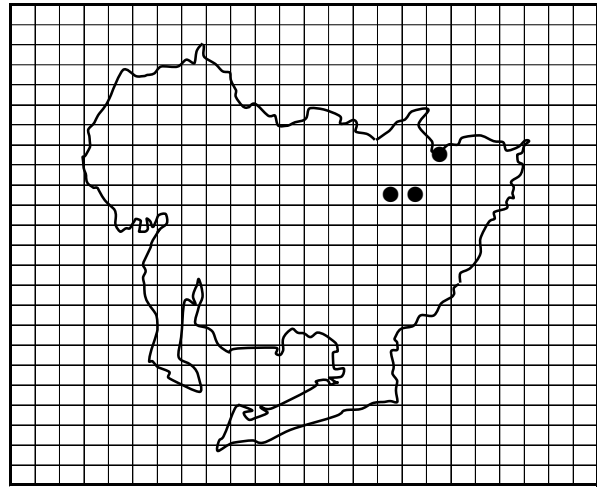
体長 4~5mm。頭胸部は肉色で、中央に黒色の細い縦条がある。腹部上面は黄白色で、中央は茶褐色。2~3対の黒色斑がある。

【分布の概要】

県内では、豊田市(旧稲武町)面ノ木園地と設楽郡設楽町裏谷のブナ林に分布する。

国内では、北海道、本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

ブナ林の林床に自生するスズタケに生息する。葉裏に皿網を張り、その中に潜んでいる。

【現在の生息状況／減少の要因】

2017年ごろからスズタケが一斉に枯れて、葉裏に皿網が張れなくなり、危機的な状態にある。2018年以降は面ノ木園地、裏谷とも記録されていない。

【保全上の留意点】

スズタケの再生が望まれる。また、温帯林を含めた環境を保全すべきである。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑, pp.48,189. 偕成社, 東京.
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑, pp.16,73. 保育社, 大阪.
新海栄一, 2017. 日本のクモ増補改訂版, p.208. 文一総合出版, 東京.
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, p.327. 東海大学出版会, 神奈川.
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.235,529. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)